



平成22年度年間テーマ 『挑戦！釧路』

◆平成 22年 11月 例会報告【執行部担当例会】

題目 「地域社会における地方新聞の役割」
 講師 株式会社釧路新聞社 代表取締役社長 春日井 茂様
 開催日時 平成22年11月10日(水曜日) 午後 6時30分～
 開催場所 釧路キャッスルホテル 1階 海の間
 出席者 第一部会 6名 第二部会 10名 第三部会 5名 第四部会 7名
 合計出席者数 28名(全46名) 出席率 60.87%

◆◆◆◆◆例会報告◆◆◆◆◆

『会長挨拶』

今年も後残すところ二ヶ月を切りました。年間テーマ「挑戦釧路」を掲げ、皆様と共に勉強してまいりました。各部会例会の素晴らしい発表内容に感激した一年間でありました。

さて、外交内政ともに様々な問題を抱え、ニュースには事欠かない昨今の日本です。こんな中で今日は、釧路新聞社の春日井社長をお招きし、地方新聞の役割や今年のテーマである『おこせ！地域の風』に対する思いなどをご講演いただきます。



『例会内容』株式会社釧路新聞社 代表取締役社長 春日井 茂様講演

私も釧路新聞社に入社して10年目ということで、一つの区切りとして考えました。その10年間をお話すると共に前職の26年間お世話になった国税のことも少しお話ししようと思います。

●国税から新聞社●

私の前職は国税局でした。国税の中でも大企業などの調査を行う調査部に在籍し、調査した企業数は1000、業種は80にも登ります。私が国税局に入局して先輩から言われて印象に残った言葉は「国税の職場はテイクだけの職場である」です。商売はギブ&テイク、役所はギブの職場であり、国税はかなり特殊な職場でありました。長く勤めて参りましたが、次第にその閉鎖性に疑問を感じていたところ、妻が釧路新聞社の創業者の次女ということもあり釧路新聞社に転身いたしました。



●日本の新聞社の特徴と現状●

新聞には全国紙（読売等）、県紙（道新等）、地方紙（釧新等）などがあります。

釧路でのシェアは北海道新聞が4万、釧路新聞が2万、朝日が1500、読売が1200となり、寡占性の高い業種であります。

日本の新聞の特徴である宅配についてですが、宅配率は平成21年の統計では94.7%、世界では日本に次いで高いのが韓国の90.8%、アメリカは74%。一番低いのはイタリアの0.6%。その他の国では宅配率が50%ぐらいの国が多く、日本や韓国は世界的にみて非常に珍しい国となります。



日本では年間発行部数は約5000万部。一戸あたりの平均購読部数が0.95部、群馬県が一番多くて1.17部、北海道は0.81部と下から三番目の少なさ。人口あたり（成人1000人あたり）では、日本は613人。アイスランドが世界一で817人、スイスが627人。アメリカが211人。世界の中でも日本はかなり多くの人々が新聞を購読しています。

今マスメディアは大きく変貌しています。インターネットの普及と携帯電話などの新しいメディアの出現により、新聞はかなり苦戦を強いられています。

釧路あすなろクラブ 12月例会のご案内

早い物で師走の声を聞く季節となりました。12月は忘年例会です。
今年一年を振り返りつつ、食べて飲んで会員相互の親睦を深めましょう！
(ミニゲーム[景品付き！]も用意してます。)

・ ・ ・ ・ 12月例会 ・ ・ ・ ・

■例会内容■ 『忘年例会』



■開催場所■ 釧路キャッスルホテル

■日 時■ 平成22年12月4日(土曜日)
午後6時30分より

出欠連絡■ 締め切り 11月29日(月曜日)必着

★出欠の有無に○を付け、各部長さんへFAXお願いします。

氏 名 _____

例会 出席 ・ 欠席

■各部長のFAX番号■

一部会	畠山智彦	91-9549	二部会	結城 太	42-3235
三部会	高木俊一	44-6147	四部会	坂本裕人	36-8731